

対象機種	LEDB88931Y LEDB88932Y
適合ランプ(別売)	LED電球一般電球形(E17口金) LDA6L-G-E17/S/60W2まで
推奨ランプ(別売)	LED電球一般電球形(E17口金) LDA4L-H-E17/S/40W2

このたびは東芝LED照明器具をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。

正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

■安全上のご注意 商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

■工事店様へ 施工上のご注意 ●照明機器の電気工事は、電気工事の有資格者の管理が義務付けられています。
●工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

ON/OFFセンサー付照明器具

1. 人感センサーが人の動きをキャッチして自動的に点灯する機能を持っています。
2. 照度センサーを内蔵していますので、周囲が明るい時は点灯しないように設定できます。
3. 壁スイッチの操作で連続点灯させることができます。

事前にご確認ください。

(2ページの「■器具を取り付ける前」をご確認ください。)

- 必ず壁スイッチのあるところに取り付けてください。
- 1つの壁スイッチには1台でご使用ください。
- (1つの壁スイッチで2台以上の器具を取り付けると、同時に連続点灯に切り替わらない場合があります。)
- 調光器のついている回路ではご使用になれません。
- 表示灯付スイッチと組み合わせる場合は弊社製品をご使用ください。(弊社商品名: オフピカスイッチ)
- 他社製表示灯スイッチとの組み合わせはできません。誤動作の原因となります。

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

●器具の取り付けは、本体表示並びに取扱説明書に従い行ってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災等の原因となります。 ●電源接続の際は、取扱説明書に従ってください。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災の原因となります。 ●施工時において絶縁体にナイフ等のキズが付いた状態で通電されますと、絶縁破壊が生じ電線が焼損する原因となります。 ●器具の取り付けには方向性があります。本体表示並びに取扱説明書に従ってください。指定以外の取り付けを行うと器具の落下、感電、火災の原因となります。 ●調光器(当社商品名コントロールクスなど)による調光使用はできません。調光器が取り付けられている配線でご使用になりますと故障の原因となります。	●アース工事は電気設備技術基準に従い確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。(D種(第三種)接地工事) ●この器具は海上や臨海部などの重塩害地、沿岸部の塩害地には使用できません。早期の錆発生、器具落下の原因となります。 ●この器具は腐食性ガス雰囲気(温泉地など)、溶液の発散する場所、オイルミストが発生する場所では使用できません。 ●この器具は激しい震動・衝撃の加わる可能性のある場所、常時振動のある場所には使用できません。 ●絶縁不良、器具落下の原因となります。
●非調光用の壁スイッチを使用してください。 ●発煙、故障、ちらつき、不点の原因となります。 ●調光器は使用できません。 (100%点灯でも使用不可)交換してください。	●器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。 ●落下、感電、火災の原因となります。

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

●交流100V正弦波以外の電圧で使用しないでください。 ●上記以外の電圧を加えると、器具やランプの寿命が短くなったり、過熱による火災の原因となります。	●人がぶら下がったり、踏みつけたり、引張ったり、押したりするような場所には取り付けないでください。 ●落下や破損の原因となります。 ●十分な強度のある面に取り付けてください。 ●落下の原因となります。 ●樹脂系の塗料で塗装された壁などに取り付けますと、雨じみが発生する場合があります。 ●器具に1mを超える積雪の可能性がある場所には使用しないでください。器具落下の原因となります。 ●(使用する場合は必ず除雪を行ってください。)
--	--

■お客様へ 使用上のご注意 ●この器具の取り付け、取りはずしには電気工事士の資格が必要です。
●取り付け、取りはずしは、販売店、工事店に依頼してください。
●お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

●ランプ交換やお手入れの際は、取扱説明書に従って行ってください。 ●落下、感電、火災の原因となります。 ●ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。 ●感電の原因となります。 ●ランプ交換の際は、必ず本体表示並びに取扱説明書の適合ランプを使用してください。適合ランプ以外を使用すると過熱による器具の変形、変色、火災の原因となります。	●お手入れ等によりセードやランプをはずし、再度取り付ける場合には、取扱説明書に従ってください。 ●取り付けに不備があると、水・水気の浸入による絶縁不良、感電、セードやランプの落下の原因となります。
--	---

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

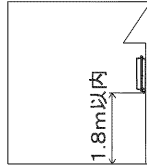
●点灯中及び消灯直後は、器具が高温になっていますので、手を触れないでください。 ●やけどの原因となります。 ●布や紙などを被せたりしないでください。 ●火災の原因となります。 ●LED光源を直視しないでください。	●金属部分をクレンザーやたわしで磨かないでください。 ●傷をつけた腐食の原因となります。 ●セード、本体、ソケット、ランプ等の樹脂部品には洗剤や薬品等を使用しないでください。部品の劣化の原因となります。
--	---

■器具を取り付ける前に

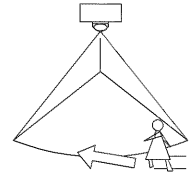
- 必ず壁スイッチのあるところに取り付けてください。
- 1つの壁スイッチには1台でご使用ください。(1つの壁スイッチで2台以上の器具を取り付けると、同時に連続点灯に切り替わらない場合があります。)
- 調光器のついていない回路ではご使用になれません。
- 器具の性能を確保するため、設置場所は十分検討の上決定してください。

人感センサースイッチの検知エリアを考慮して器具を設置してください。

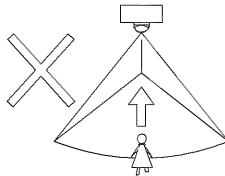
- 高さ1.8m以内に設置してください。



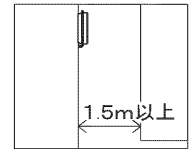
- センサーの特性上、図の様に検知エリアを人が横切る位置に設置しますと、センサーの人体検知の信頼性がより向上します。



- センサーに向かって人が近づくような位置に器具を設置すると、器具のごく近くまで人が近づかないと検知しない場合があります。



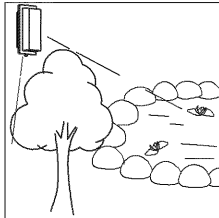
- 器具本体から出た光の反射によって起こる自己点滅を防ぐため、白壁から1.5m以上離して取り付けるかもしくは人感センサー検知部の方向を調整してください。



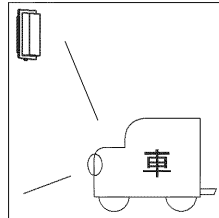
- 雨や雪などをセンサーが検知して器具が点灯する場合がありますが、故障ではありません。

■次のような場所には取り付けないでください。(検知しなかったり、誤動作、故障の原因になります。)

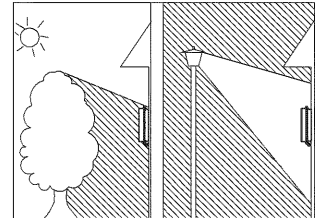
検知エリア内に木や池の水面などがあり、風でこれらのものが動く場所。



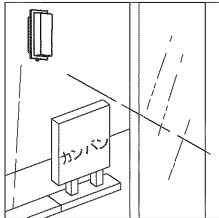
車のヘッドライトが直接当たる場所。



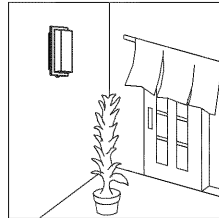
昼間でも暗い場所や、夜間でも明るい場所。(取付環境により照度レベルが変わり、誤動作等が考えられます。)



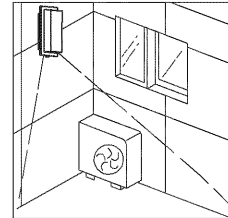
前面に障害物のある場所。
(透明なガラスでも遮断されます。)



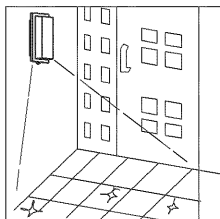
風などでよくゆれるのれんや植物などがある場所。



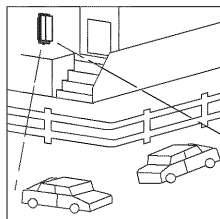
エアコンなどの排気口の近く。
排気口に対向する場所。



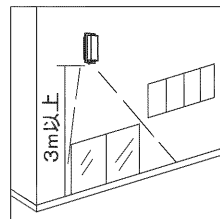
大理石など反射の強い床面のある場所。



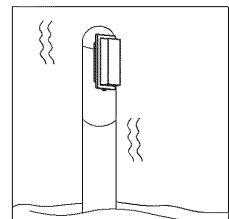
検知エリア内に交通量の多い道路がある場所。



取付高さが3m以上になる場所。



振動の激しいポールなど、不安定な場所。



■各部のなまえ

※この取扱説明書は同種類の器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図が違っている場合があります。

防雨形

壁面取付専用

(冠水するおそれのある場所を除く)

壁面：横向き方向取付不可

＜ボックス取付可※＞

※ボックス取付用ねじは付属していません。

※JIS C 8340適合の66.7mm・83.5mmピッチに取り付けられます。

※ボックスには0.6～0.8N・mを目安に取り付けてください。

屋外用

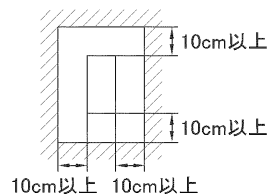
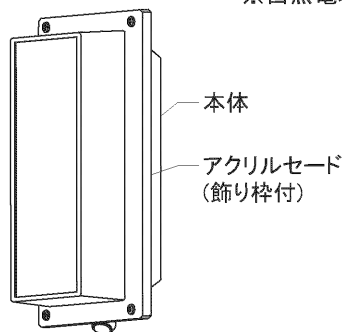
●付属品

・座付木ねじ(平座金付)・・・2本

・耐熱保護チューブ・・・1本

・エアカットマスクG、Hタイプ・・・各1個

※白熱電球(ミニクリプトンランプ)は使用できません。



器具周囲面より10cm以上
離して取り付けてください。
下側はなにもないようにしてください。
センサーの検知エリアに影響します。

エアカットマスクG、Hタイプ

形名：DIK-1232-MASK

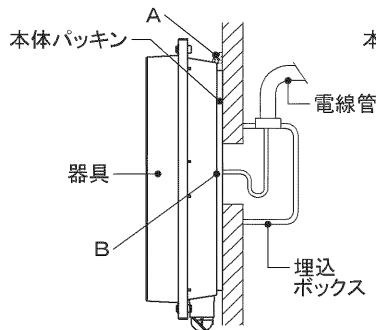
部品コード：16089771

紛失の際は東芝コンシューマーマーケティング(株)扱いのサービス部品でお求め頂けます。

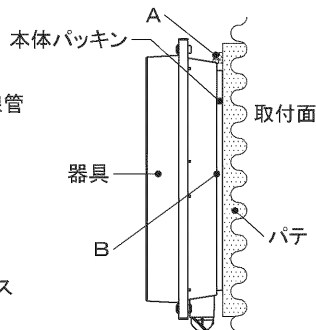
■器具取り付け時の注意事項

▲注意

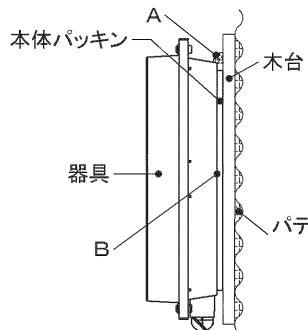
- 器具を取り付ける際は、器具取付部の本体パッキンが取付面と器具に、必ず密着するようにしてください。
- 高湿度内で長時間ご使用の場合は点灯・消灯による呼吸作用を回避するため、第1図のような工事を行ってください。
- 器具の取付面は、本体パッキンよりも大きくしてください。(第2図・第3図)
- 本体パッキン外周部に全周コーキングを必ず行ってください。(第1図・第2図・第3図)
- 裏面から雨がかかるような取り付けはしないでください。
- 取付面に凸凹がある場合は、パテ等で凸凹をなくすか、防水用シーラ剤等で器具(木台)と取付面のスキマを埋めるようにしてください。(第2図・第3図)
- 埋込ボックス等に取り付ける場合は、取付用ねじに金属製のワッシャー等をはめてから器具を取り付けてください。(ボックス取付用ねじは付属されていません。)
- 器具を逆向きに取り付けると、防水性が損なわれます。正しい向きで取り付けてください。



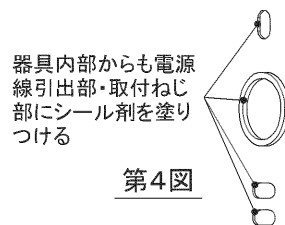
第1図



第2図



第3図



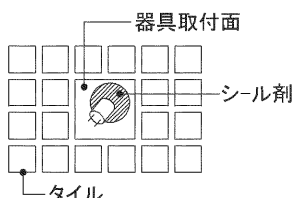
第4図

A：本体パッキン外周部全周シーラ剤を塗り付けるか、または本体パッキンの取付面全体にシーラ剤を塗り付けてください。

B：器具内面からも、電源線引出部・取付ねじ部にも水の侵入のないようシーラ剤を塗り付けてください。(第4図)

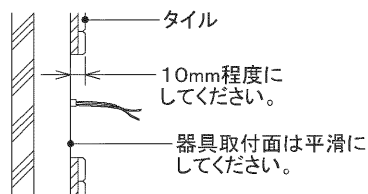
●タイルモジュールの場合

- ①器具の取付面を確保してください。取付面は本体パッキンよりも大きくしてください。
 - ・電源線は中央から正確に出してください。
 - ・電源線の引出部は、シーラ剤で防水処理をしてください。



- ②器具の取付面を平滑にしてください。

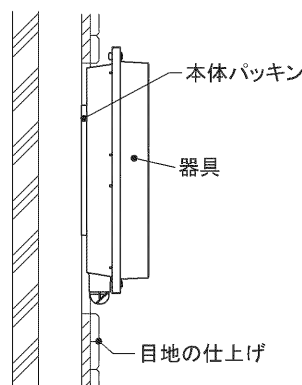
注) 器具の取付面に凸凹がありますと、器具取付部の本体パッキンの防水性が損なわれ感電のおそれがあります。ご注意ください。



- ③器具の取り付け後、目地部の仕上げをします。

・目地仕上げには、目地用モルタルまたは、市販の防水用シーラ剤で仕上げてください。漏水の原因にもなりかねませんので、目地仕上げには十分注意してください。

※防水用シーラ剤はカビの発生防止、耐久性のあるものを使用してください。



■ 器具の取り付けかた ※器具取り付けの際は必ず電源を切ってください。

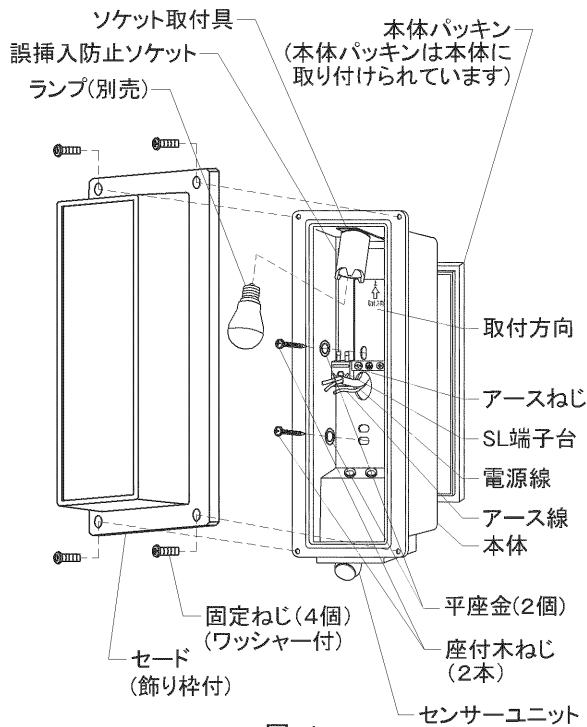


図-1

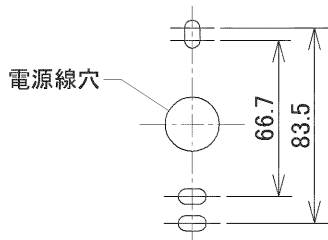


図-2 取り付け寸法図

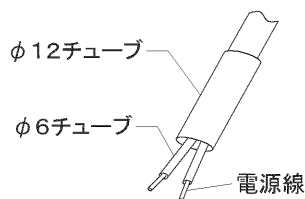


図-3 耐熱保護チューブの取り付けかた

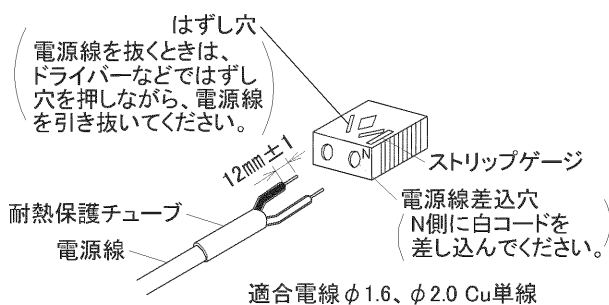


図-4 SL端子台

1. 器具取り付けの前に

- ① 固定ねじ(4個)をはずし、本体からセードをはずしてください。(図-1)

2. 器具を取り付ける

- ① 図-2の取り付け寸法図を参照し、取付面より電源線・アース線を引き出してください。(図-2)
- ② 電源線の被覆を端子台のストリップゲージに合わせてむいてから、電源線に備え付けの耐熱保護チューブをかぶせてください。(図-3)
- ③ 本体の中央部の電源線穴から電源線とアース線を引き出してください。本体パッキンが本体に取り付けられているか確認してください。(図-1)
- ④ 本体内面の取付方向にしたがって付属の座付木ねじ(2本)と平座金(2個)で本体を取付面に確実に取り付けてください。(図-1)
※必ず付属の平座金を使用し、下穴を空けてから取り付けください。木ねじは、1.2N・m以内で取り付けてください。(相手側が固い場合など、上記のトルクで締まらない場合)
- ⑤ 電源線をSL端子台に確実に奥まで差し込んでください。(図-4)

⚠ 警告

- 電源線皮むき寸法は 12 ± 1 mmで、垂直にカットしてください。
- 電源線は確実に奥まで差し込み、端子部に無理な力を加えないでください。(感電・火災の原因)

⚠ 警告 感電・発熱・焼損・火災の原因となります。

- 電源線はまっすぐなφ1.6mm、2.0mmの単線を使用してください。
- 曲がった電源線及び、より線は使用しないでください。
- 電源線結線及び器具施工の際は電源線をねじったりまわしたりしないでください。
- ポリエチレン系絶縁材を使用したEM(エコマテリアル)ケーブルをご使用される場合には、器具内に引き込んだケーブルの外部被覆(シース)を除去し、絶縁体を露出したままにせず、黒色テープまたはチューブで覆い、全線心に遮光処理を行ってください。

注) 電源線を抜くときは、SL端子台のはずし穴にマイナスドライバーを差し込み、電源線を引き抜いてください。(図-4)

- ⑥ アース線をアースねじに取り付けてください。(図-1)
- ⑦ ランプ(別売)を誤挿入防止ソケットに取り付けてください。(図-1)
- ⑧ セードと本体の穴位置を合わせ、固定ねじ(4個)でセードを本体に取り付けてください。電動工具などは使用せず、必ずドライバー等で手締めで固定してください。(図-1)

⚠ 警告 落下の原因となります。

器具およびランプの取り付けは確実に行ってください。取り付けが不十分ですと落下の原因となります。

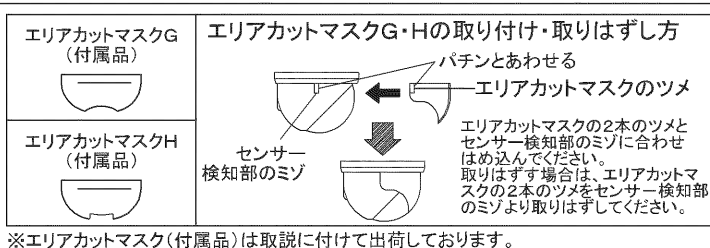
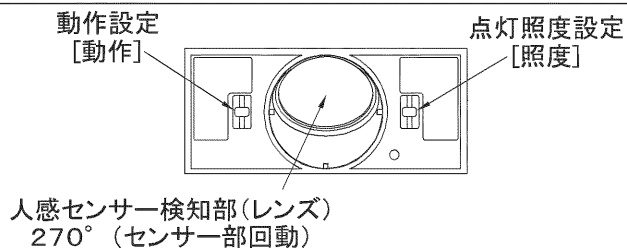
⚠ 警告 感電、落下の原因となります。

器具の取り付けの際は取付面の凸凹を調べて平滑な所に取り付けてください。
造営物によっては、ポリ台・木台を使用してください。
取り付けが不十分ですと、水気の浸入による絶縁不良・感電の原因となります。

3. センサー検知エリアの設定

- ① 必要に応じて、センサーの検知エリアを調整してください。
調整方法については5ページを参照してください。

■センサーの名称



■設置後検知エリアを決定する

- 検知エリアを決定するには「テストモード」で行うと便利です。
「テストモード」は周囲が明るいときでも、人を検知するたびに約5秒間全光点灯します。
器具の周囲を歩き、検知エリアの確認、調整を行ってください。
(「テストモード」への設定は、●テストモードを確認してください。)
1. 切替スイッチを「テストモード」に合わせる。
 2. 壁スイッチをONします。
※壁スイッチをONすると、約30秒間全光点灯します。その後テストモードになります。
 3. 人感センサー検知部を動かして位置を決めてください。

●テストモード

周囲の明るさに関係なく人を検知すると5秒間点灯します
※出荷時は、テストモードに設定されています。

1. [照度]のスイッチを「テスト」に設定してください。

照 度

■ — テスト
— 明
— 暗

2. [動作]のスイッチを「ON/OFF」に設定してください。

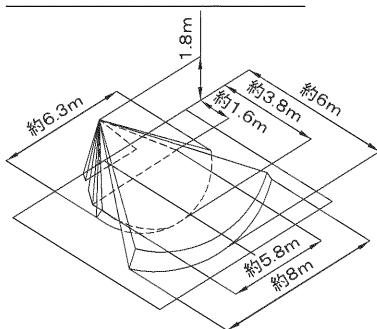
動 作

— 8hタイマ
— 6hタイマ
■ — ON/OFFモード

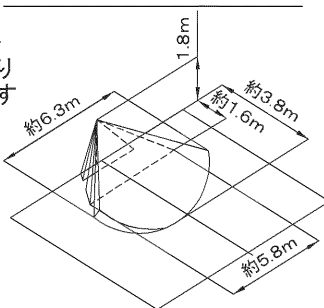
検知エリア

検知エリアは参考値です。
※照明器具の灯具の向きまたはセンサーの向きによっては検知エリアの距離を満足しない場合があります。
※検知エリアは、気象条件などにより差が生じる場合があります。
(特に寒冷地などで、手袋・コートなどの表面温度が低い時、動作しない場合があります。)

エアアカットマスク未使用時

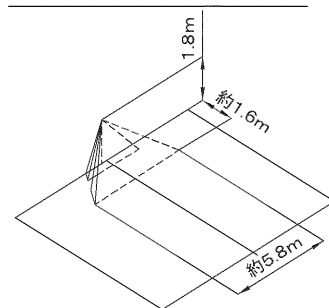


エアアカットマスクG使用時



エアアカットマスクを取り付けることにより検知エリアをせまくすることができます。

エアアカットマスクH使用時



■センサー機能について

- 人感センサースイッチの切替スイッチを組み合わせることにより、設定を変更できます。

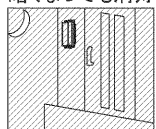
●ON/OFFモード

暗くなって人を検知した時だけ点灯させたい

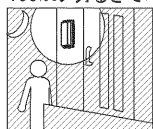
日中は消灯



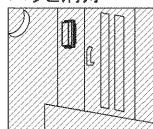
暗くなっても消灯



暗くなると人が近づくと100%の明るさでパッと点灯



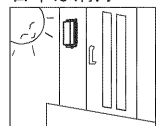
人がいなくなるとパッと消灯



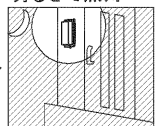
●6hタイマーモード

暗くなると自動点灯、夜中は省エネ、人が来た時だけ点灯します

日中は消灯



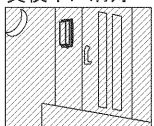
暗くなると100%の明るさで点灯



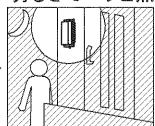
6時間タイマーモード

人がいてもいなくても6時間100%点灯状態に。

真夜中に消灯



人が近づくと100%の明るさでパッと点灯



人がいなくなるとパッと消灯

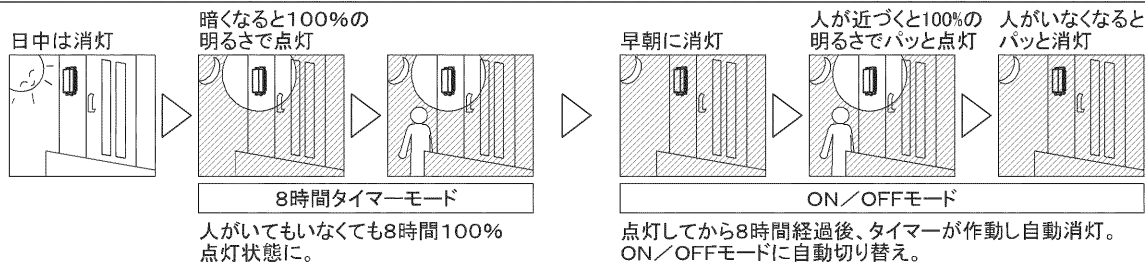


ON/OFFモード

点灯してから6時間経過後、タイマーが作動し自動消灯。
ON/OFFモードに自動切り替え。

●8hタイマーモード

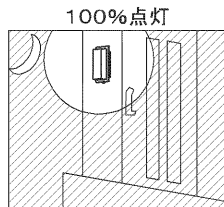
暗くなると自動点灯、早朝まで点灯します



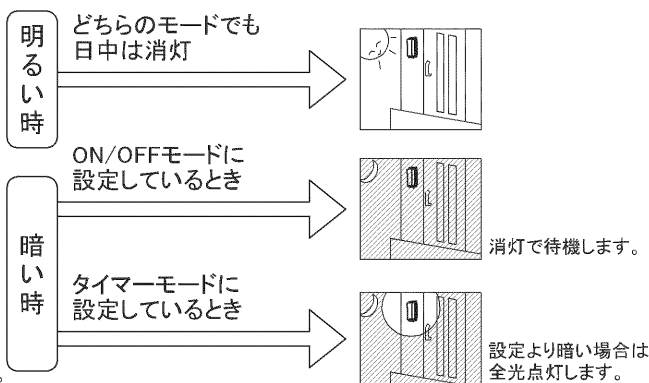
●連続点灯モード

まわりに関係なく点灯させたい

- 壁スイッチを操作して連続点灯(8時間)させることができます。



8時間後、設定されたモードにもどる



※連続点灯モード中に壁スイッチ操作(約3秒以内のOFF→ON)を行った場合、タイマーがリセットされ、その時点から約8時間の連続点灯となります。

※壁スイッチを使用しない場合は、連続点灯に切り替えることができません。

- 壁スイッチをONすると約30秒間全光点灯します。その後センサーが動作します。

- 使用中に切替スイッチを切り替えると、約5秒間消灯してから設定状態で動作します。(連続点灯モードを除く)

■設定方法

●ON/OFFモード

1. [照度]のスイッチを「暗」または「明」に設定してください。

照度



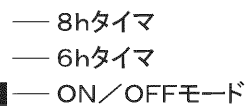
「暗」: 約15～60ルクス以下となると待機状態となります。

「明」: 約45～120ルクス以下となると待機状態となります。

※点灯照度は目安です。壁面・床面の色艶や離隔距離、周囲からの漏れ光などの影響により変化する事があります。

2. [動作]のスイッチを[ON/OFF]に設定してください。

動作



「ON/OFF」: 人が近づくと点灯します。

●6h/8hタイマーモード

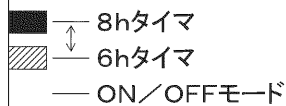
1. [照度]のスイッチを「暗」または「明」に設定してください。

照度



2. [動作]のスイッチを[6hタイマ]又は[8hタイマ]に設定してください。

動作



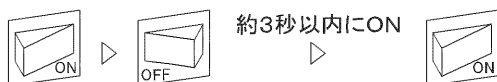
「6hタイマ」: 6時間点灯し、その後ON/OFFモードに切り替わります。

「8hタイマ」: 8時間点灯し、その後ON/OFFモードに切り替わります。

●連続点灯モード

●連続点灯設定方法

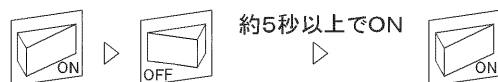
1. 壁スイッチを一度OFFさせて
2. 約3秒以内にONにする



- ・壁スイッチをONした直後は、約30秒間100%点灯します。
- ・人の有無、昼間、夜間に関係なく、約8時間点灯します。

●連続点灯設定解除方法

1. 壁スイッチを一度OFFさせて
2. 約5秒以上でONにする



- ※壁スイッチの[オフ]時間が5秒より短い場合は、強制ONモードが継続(100%点灯が8時間)されますので、必ず5秒以上[オフ]にしてから[オン]に戻してください。
- ・約5秒以上消灯したあと、センサー待機状態となります。

■故障かな？と思ったら

■センサーの動作が故障かな？と思ったら下記を参照に点検を行ってください。

現象	考えられる原因	処置方法
周囲が暗く なっても点灯 しない。	電源接続が正しく行われていない。	電源を正しく接続してください。
	壁スイッチ(電源)がOFFになっている。	壁スイッチ(電源)をONにしてください。
	壁スイッチが故障している。	壁スイッチを交換してください。(工事店等に依頼してください。)
	ランプが切れている。	壁スイッチをOFFにしてからランプを交換してください。
	センサーに周りの光が入っている。	光が入らないようにしてください。※4
人が近づいても 点灯しない。	電源接続が正しく行われていない。	電源を正しく接続してください。 (お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。)
	壁スイッチ(電源)がOFFになっている。	壁スイッチ(電源)をONにしてください。
	壁スイッチが故障している。	壁スイッチを交換してください。(工事店に依頼してください。)
	ランプが切れている。	壁スイッチをOFFにしてからランプを交換してください。
	厚手の服を着ている。傘をさしている。	熱量を検知するためコート等を着込んでいたり、傘をさしていると体温が検知されず反応しない場合があります。※1
	人感センサーの検知部の表面に汚れが付着している。	水で固く絞った柔らかな布で軽く人感センサー検知部の汚れを落としてください。
	検知エリアに人が入っていない。	検知エリアの確認、調整を行ってください。P5
点灯したままで 消灯しない。	連続点灯モードになっている。	センサーモードに戻してください。P5、6
	電源の瞬時停電でセンサーが連続点灯モードになっている。	電源の瞬時停電があると、連続点灯モードになる場合があります。P5、6
	検知エリアに熱源がある。	検知エリアから熱源を取り除いてください。※1
	検知エリア内に、常に人感センサーに反応するものがある。	検知エリアから反応するものを取り除いてください。※2
	激しい雨が降っている。	人感センサー検知部について水滴を検知して点灯する場合があります。※1
	検知エリアに木や池の水面などがあり、風でこれらのものが動くと検知する場合があります。	検知エリアの調整をしてください。※1
	センサーが故障している。	センサーを交換してください。 (お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。)
	6h/8hタイマーモードで夜間壁スイッチをONした場合、100%連続点灯状態となっている。	連続点灯を解除するにはいったん壁スイッチをOFFにし、5秒以上経過してからONにしてください。※5
人が近づかなく ても点灯する。	6h/8hタイマーモードで、周囲が暗くなった。	6h/8hタイマーモードは周囲が設定より暗くなると点灯します。
	検知エリア内にペットなどの動物がいる。	ペットなどの動物にも人感センサーは反応します。※1
	激しい雨が降っている。	人感センサー検知部について水滴を検知して点灯する場合があります。※1
	検知エリアに木や池の水面などがあり、風でこれらのものが動くと検知する場合があります。	検知エリアの調整をしてください。※1
	検知エリア内を車などが通る。	車の通りが激しいところでは誤作動しますので、検知エリアの調整を行ってください。※1
	検知エリアに熱源がある。	検知エリアから熱源を取り除いてください。※1
	電源電圧の一時的で急激な変動があった。	※3
	センサーが故障している。	センサーを交換してください。 (お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。)
ランプが 短寿命である。	ランプ不良の場合がある。	壁スイッチをOFFにしてからランプを交換してください。
	振動が多い場所に取り付けてある。	振動でランプが切れる場合があります。 振動がない場所に取り付けてください。
	他社製ランプで器具に適合していない。	当社指定ランプをご使用ください。
検知エリアに 人がいるのに ランプが消える。	ランプが切れた。	壁スイッチをOFFしてからランプを交換してください。
	検知エリア内で動かなくなった。	検知エリア内に人がいても、動きがない場合には人感センサーが検知しないため器具が消灯します。 動くと人感センサーが検知し器具が点灯します。
	センサーの電源を都度、入り切りしている。	電源ON直後はセンサー内のマイコンが調整を行ってしまいますので、一度器具が点灯し消灯してテストモードとなります。※3
明るさに関係なく人 に反応し点灯する。	テストモードになっている。	点灯照度設定のつまみを「明」または「暗」にしてください。
明るさに関係なく 点き放しになる。	誤った壁スイッチ操作や瞬間的な停電などで連続点灯モードになっている。	壁スイッチを5秒以上OFFにしてから再びONにしてください。 設置されているセンサーのモードに戻ります。P6
ランプが点滅する。	ランプの光を照度センサーが検知してしまっている。	器具設置場所を変更してください。※4

※1 人感センサーは赤外線検知方式となっています。これは検知エリア内の熱変化(温度変化)を検知する方式です。このため、検知エリア内でのペット等の動物の動きにも反応します。また、木や池等の水面が風等で動いた場合や、雨等の水滴が人感センサー検知部に付着した場合や、水滴が人感センサー前面を動いても反応することがあります。また冬季に厚手の服を着ている場合、体温が服の内部に閉じ込められて、服の表面温度が外気と差が無いために、人感センサーが反応しないことがあります。

※2 点灯は照度センサーが優先され、消灯は人感センサーが優先されます。通常は周囲が暗くなり照度センサーが検知状態となってから人感センサーが検知して全光点灯状態のときは照度センサーは動作しません。この機能のため、周囲が暗い状態で人感センサーが動作し、検知し続けることにより点灯をのときは照度センサーは動作しません。この機能のため、周囲が暗い状態で人感センサーが動作し、検知し続けることにより点灯を維持すると、周囲が明るくなっても器具は点灯したままとなります。

※3 電源投入直後は約30秒間器具点灯状態となりセンサー内のマイコン調整を行います。マイコン調整が終了するとセンサーはテストモードになります。周囲の明るさに関係なく、人体を検知すると約5秒間ランプが点灯します。

※4 反射が強い床面や壁面に取り付けると、ランプの光が反射して、照度センサーが明るくなったと検知して消灯し、消灯後暗くなったと検知して再び点灯するといった点滅状態となる場合があります。(点灯間隔は約5分) この場合、ランプ照射部分が可動できるものは床面や壁面を照らさない方向に可動させてください。その他の器具は、器具の設置位置を変更するか、床面や壁面が反射しないような措置が必要となります。

※5 周囲が暗い場合に壁スイッチをONした場合、6h/8hタイマーモードがスタートします。タイマーモードは、最初に6時間ないし8時間設定されたタイマーが働き連続して100%点灯状態になり、この場合、周囲が明るくなっても点灯を維持します。

■使用上のご注意

- LED光源にはバツキがあるため、同一形名商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。
- 安全上、LED光源を直視することはおやめください。
- 照射距離が短い場合や照射面等によって光ムラが気になる場合がありますのでご了承ください。
- 交流100V専用器具です。直流電流や交流200Vでの使用はできません。

■故障ではありません

- 器具を使用中、近くでラジオやテレビを使用されますと雑音が入る場合があります。
雑音が入る場合は、照明器具とラジオ、テレビの距離をできるだけ遠ざけるか、それぞれの向きを変えてください。

■お手入れのしかた

⚠ 注意 お手入れの際は必ず電源スイッチを切ってください。感電の原因となります。

- 器具を清掃する際は、乾いたやわらかい布か、水で湿したやわらかい布をよく絞ってからふいてください。
- ランプを清掃する際は、ランプを器具からはずして乾いた布でふいてください。

⚠ 警告

- 器具に直接水を勢いよくかけて洗わないでください。
水気の浸入による器具の破損、感電などの原因となります。

⚠ 注意

- 器具をいためますので、ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
変色、破損の原因となります。

■仕様

※適合ランプ、推奨ランプの仕様です。適合ランプ・推奨ランプの詳細については、商品図面をご覧ください。
※適合ランプ、推奨ランプの消費電力、入力電流値は、取り付ける器具によって異なる場合がありますが異常ではありません。

適合ランプ	定格電源電圧(V)	電源周波数(Hz)	定格寿命(時間)	入力電流(A)	消費電力(W)
LDA6L-G-E17/S/60W2	AC100	50/60	40,000	0.119	6.5
推奨ランプ	定格電源電圧(V)	電源周波数(Hz)	定格寿命(時間)	入力電流(A)	消費電力(W)
LDA4L-H-E17/S/40W2	AC100	50/60	40,000	0.083	4.5

※照明器具の耐用年数とは異なります。「LEDモジュールが点灯しなくなるまでの総点灯時間、又は、器具光束が、点灯初期に測定した値の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間」を推定したものです。

※誤挿入防止ソケットを使用しているため取り付けられないLED電球があります。ネック部スリムタイプのLED電球を使用してください。

⚠ 安全に関するご注意

- 照明器具には耐用年数があります。
- 設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。
- ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C 8105-1解説による。)
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、耐用年数が短くなります。
- 年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。※「安全チェックシート」は当社ホームページに記載しています。
- 3年に1度は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

保証とアフターサービス

弊社ホームページに掲載のメーカー保証規定をご確認ください。
修理を依頼されるときは『修理サービス規定』をご確認ください。

メーカー保証規定: https://www.tlt.co.jp/tlt/support/warranty/warranty_policy.htm
修理サービス規定: https://www.tlt.co.jp/tlt/support/repair_service/repair_policy.htm

ご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店(工事店)または
弊社ご相談センターにお問い合わせください。その際は商品の形名、お買い上げ
時期、故障の状況などをお知らせください。



メーカー保証規定



修理サービス規定

保証について

- ・メーカー保証期間は、商品お買い上げ日より(引き渡し日)3年間です。
但し、リモコンなどの付属品は、製品の保証期間にかかわらず、
1年間です。
- ・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の
半分の期間とします。

補修用性能部品の保有期間

弊社は、照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
※補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。
※材料の終息等により、保有期間前に修理できない場合があります。

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック商品ご相談センター

0120-66-1048 (通話料: 無料)
携帯電話 046-862-2772 (通話料: 有料)
FAX 0570-000-661 (通話料: 有料)
ホームページアドレス <https://www.tlt.co.jp/>

- ・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社へ、お客様の個人情報を提供することがあります。

日本国内専用
Use only in Japan

東芝ライテック株式会社

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34

お客様はお読みになった後も必ず保存してください。